

Common-Sense はアミューズメント施設、展示会、博覧会等の総合演出の際に、照明以外の様々な機器との通信をスムーズに連携するマルチインターフェイスです。

Common-Sense は多くのシリアル出力に変換できる多数の入出力信号を送受信します。

Common-Sense はソフトウェア“Sense-Edit”を使用してコンフィグします。



“Sense-Edit”はビジュアルインターフェースを使用し、すべての入出力を視覚的にプログラミング可能です。

ユーザーは Show-Control、Grand-MasterFlash! や No-Worries 等のトリガーを使用する製品に対して標準的なテンプレートから選択するか、全てのパラメーターを入力します。全パラメーターを入力する場合、ボーレートやデータフォーマットコントロール等の高度な機能を使用することも出来ます。

全てのセンサー接続は内部のクイックターミナルで行います。ケーブル入力は3個の20mmコンダクタアダプターで行います。

全てのデータは内部フラッシュメモリーで記憶されます。

## Specification:

- \* 寸法: 320 x 98 x 45mm
- \* 重量: 0.53kg
- \* 電源: 9V 300mA

## Accessories:

- \* 赤外線ハンドセット、赤外線リピーターモジュール

## Inputs:

- \* 16 オプトアイソレート入力
- \* 64 マトリックスキーボード入力
- \* 2 アナログ(0-5V)入力
- \* 赤外線ハンドセット入力
- \* リアルタイムクロック
- \* DMX512 & RS485 入力
- \* RS232 入力
- \* MIDI & MIDI タイムコード入力

## Outputs:

- \* DMX512 出力
- \* RS485 出力
- \* RS232 出力
- \* MIDI 出力

